

一般社団法人桜蔭会 2018年度事業報告

公益事業

(1) 講演会・セミナー（開催13件）

	支部名	実施日	事業内容	参加人数
*	兵庫	4/21	講演会「日本庭園を味わう」 講師：中田 勝康氏	92
	埼玉	4/21	「これからの時代を生きるために——今本当に必要なコミュニケーション力とは？」 講師：鳥飼 玖美子氏	73
*共	山梨	5/7	講演会「私の半生と出会った女性たち」 講師：大村 智氏	150
	東京	5/12	講演会「お茶の水女子大での21年間の活動と記録」 講師：原 ひろ子氏	48
*	愛知	5/20	講演会「自宅でビジネス」——ママ起業の意義と未来 講師：鹿住 倫代氏	35
	本部	5/27	講演会「出過ぎた杭は、打たれない——ファッション業界リケジョ社長奮戦記！」 講師：寺崎 志野氏	55
*	大阪	6/3	講演会「子どもから話を聴くということ——司法面接を通して」 講師：仲 真紀子氏	49
*	和歌山	7/15	講演会「南方熊楠と城下町和歌山」 講師：武内 善信氏	41
	東京	10/6	講演会「キュリー夫人の理科教室110周年」マリー・スクウォドフスカ・キュリーの世界 講師：吉祥 瑞枝氏	57
*	長野	10/8	講演会「長野県の女性応援の施策」 講師：中島 恵理氏	33
*	京都	10/14	講演会「分かち合う心の進化」 講師：松沢 哲郎氏	102
*	宮城	10/28	ワークショップ「笑いヨガ」 講師：筑波 裕子氏	24
*共	群馬	11/24	講演会「ことばは子どもの未来を拓く——早期英語教育の是非をめぐって」 講師：内田 伸子氏	95

種別の印=*：支部公益事業助成金制度適用 共：共催団体のある事業(No.13 お茶の水学術事業会と共催)
講演会の他、支部の定期的の公益セミナー・講習会として（北海道支部：歴史を読む会，東京支部：花かげ句会俳句教室，竹の会書道教室，古典講座，韓国語講座 他を開催している。

(2) 母校へ教育研究助成

①桜蔭会奨学金として学部3年生4名に各20万円贈呈

2019年1月25日に贈呈式を行った。

②お茶の水女子大学桜蔭会研究奨励賞として100万円を寄付

2017年度受賞者による研究発表会が2019年2月13日に大学内で開催された。

③みがかずば奨学金に100万円を寄付

2018年度受験生で申請した人のうちで、入学した14名が奨学生となった。

④お茶の水女子大学120周年記念桜蔭会国際交流奨励賞のための基金に100万円を寄付

今年度はアジア女性支援事業に申請した中から2名、海外留学支援事業に申請した方1名に授与した。

⑤お茶の水女子大学創立140周年記念

「未来開拓基金」への寄付

国際交流留学生プラザ建築(うちに同窓会コモンズを含む)への援助として160,496,050円の寄付をした。

2 共益事業

(1) 桜蔭会会報発行

3回(5月1日, 9月1日, 2月1日)

支部だより発行

年1回: 27支部 2回: 6支部 3回: 2支部
ホームページ運営 本部(各部, 事務局, 支部, 会員, 大学からのお知らせや案内などを掲載)

支部(北海道, 東京, 神奈川, 埼玉, 富山, 兵庫)

(2) 見学会・親睦会等開催

第3回桜蔭かふえ

2018年11月4日開催 参加者28名

第7回新入会員歓迎会

2019年3月20日開催 参加者15名

歌舞伎鑑賞会

2018年11月18日開催 参加者22名

卒業30周年同窓会(実行委員会と後援)

支部が見学会・もより会・勉強会等を実施
卒業生・新会員へ記念品贈呈

(3)慰霊祭開催 10月27日に新霊位127柱,
参列者101名(ご遺族参列者25名を含む)

規定に従い慶弔の文書または電報を送付した
(判明した方々)。

(4) 就職情報窓口

(毎週火曜日13:30~15:00に開催)

会館にて開催は53回, メールによる求人情報
配信は, 配信53回, 133件。延べ相談数230
件。

2018年度の登録者数152名, 新規登録者37名,

就職決定数2名(教職:1 事務職他:1)

母校の学生キャリア支援課・研究室とも連絡を
取りながら進め, 会員からの情報・協力は会報
を通して依頼した。依頼者の希望があれば,
ホームページに求人情報を掲載した。

3 収益事業

結婚相談

(原則として毎週木曜日午後と第3土曜日実施,
但し夏・冬休みあり) 結婚相談開催37回,

相談日の来訪者数 延べ655名

入会者数52名, 退会者95名,

年度末の会員数405(男性134名, 女性271名)

お見合いの申し込み509件, そのうち96件のお
見合いが行われ, 6組の結婚が成立

*2009年から10年間で会員数は2/3, 年間入会
者数は1/3, 年間延べ来訪者数は1/2,

見合い申込件数と見合い実施件数のいずれも1/3
に減少している。このように縮小傾向は 明らか

だが、年間成立組数は10年間で3名から9名の間を乱高下しており、昨年度は10年間のほぼ平均数であった。

4 その他

(1) 徽音祭参加事業

11月4日 徽音祭に合わせて桜蔭会館にて「桜蔭かふえ」開催

(2) 桜蔭会史料保存事業

継続中であるが、会館移転のため文書等の一部は大学に寄贈した。

(3) 歴史資料室（会館2階）を管理運営

見学者 延132名（内訳は 在学生、卒業生、教職員が39名、一般93名）

2019年3月 会館移転のため閉室し、展示物、展示ケースは大学が撤収した。

(4) お茶の水同窓会連絡会開催

総会 6月5日 桜蔭会館にて開催（大学から学長はじめ8名、5同窓会役員から20名出席）

理事会 6月12日、7月16日、9月4日、

10月12日、11月1日、12月6日、

2019年3月12日

*いずれも同窓会コモンズの部屋割り、什器、予約システム等が主な事案であった。

他にも移転準備の役割によってワーキンググループ、打ち合わせ会などを複数回持った。

(5) 同窓会コモンズに関する募金活動

2018年度中の寄附金額 10,328,950円

(6) 桜蔭会館から同窓会コモンズ3階への移転

2019年3月1、2日 「ありがとう 桜蔭会館」と銘打って、移転先に持ち込めない什器、椅子等を無料で提供する催しを実施。個人の他、グランドピアノは附属小学校に、木製や金属の器は附属幼稚園のおもちゃになど、さまざまに引き取られ喜ばれた。

3月25日、日通が引っ越し作業を行ったが、それ以後も事務局を中心に運び出しを行った。

※附属明細書に関する事項

2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定

する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。